

こんなことができます!

水環境における 放射性物質の動態に 関する調査・解析



河川におけるサンプリングの様子



夢

原発事故の教訓をできるだけ多く残したい

環境放射能研究所

脇山 義史

WAKIYAMA Yoshifumi

講師 博士（理学）

研究室 URL

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/>

専門分野

水文地理学

特許情報、著書、論文

Behavior of ^{137}Cs in ponds in the vicinity of the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant *Journal of Environmental Radioactivity*. (in press) Wakiyama et al. (主著)



原子力発電所事故にもなって放出された放射性物質は陸上に沈着したあと、風雨のはたらきによって再移動します。放射線によるリスクを低減するためには、この再移動のプロセスを把握することが重要です。私はこれまで福島における水や土砂の移動にもなる放射性物質（おもに放射性セシウム）の動態について観測を行ってきました。今後はチェルノブイリ原発周辺での調査も計画しています。原発事故で得られた教訓をできるだけ多く伝えていきたいと思っています。

想定するパートナー

地方自治体、研究機関

具体的な連携、事業化のイメージ

環境放射能に関する共同観測、調査結果に基づく助言等

これまでの取組事例

- ・新田川流域における河川を通じた放射性セシウムの移行量の観測
- ・さまざまな土地利用下にある斜面における土砂および放射性セシウム移動量の観測
- ・大熊町ため池における水の放射性セシウム濃度の観測

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

